

とも
にも

大
空
町



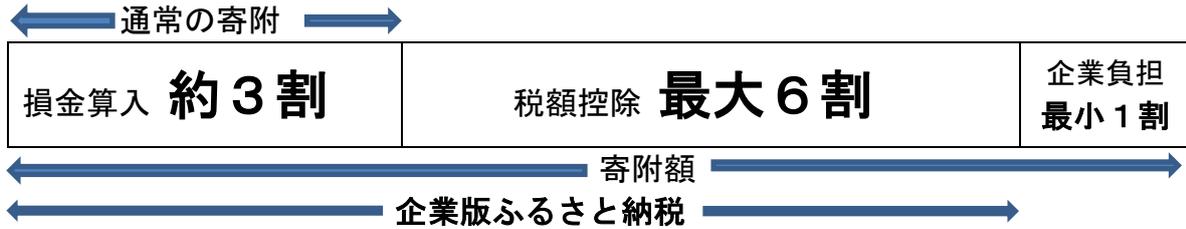
大空町
Town of Ozora

企業版ふるさと納税のごあんない

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）とは？

国が認定した地方公共団体の地方創生の取組に対し企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。通常の地方公共団体への寄附における損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、税額控除（寄附額の最大6割）により、最大で寄附額の9割が軽減され、実質的な企業の負担が寄附額の約1割まで圧縮されます。

- 活用するメリット
- 寄附額の最大約9割の軽減効果を活用しながら、地方創生を応援できます！
 - 社会貢献や企業のPRをはじめとする事業展開につながります！



例 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減

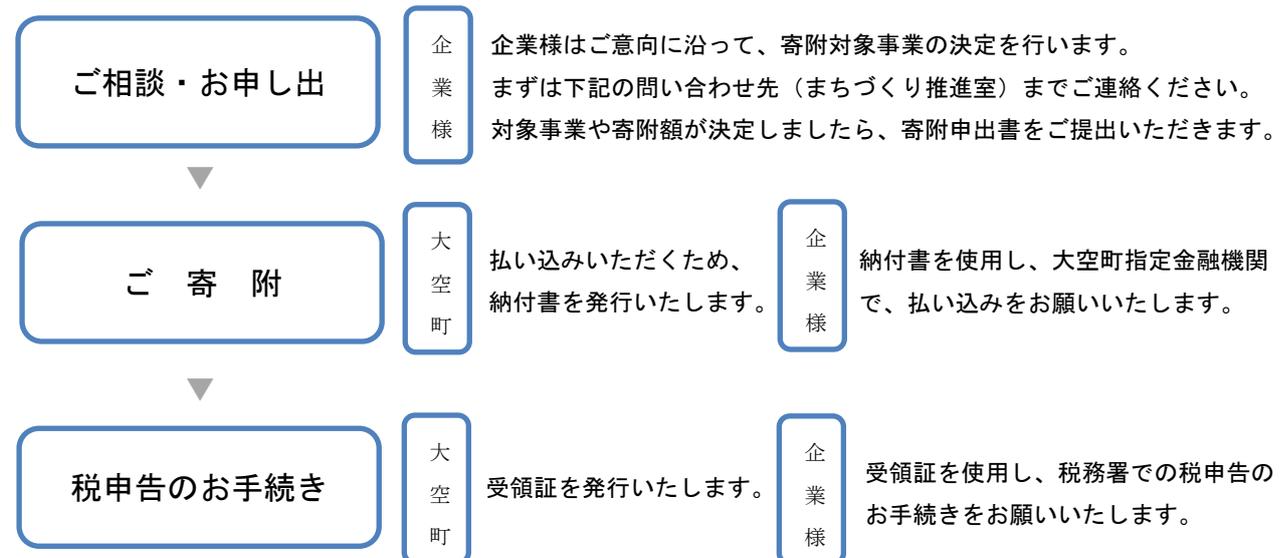
- ① 法人住民税 寄附額の4割を税額控除（法人住民税法人税額の20%が上限）
- ② 法人税 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除
※ただし、寄附額の1割が限度（法人税額の5%が上限）
- ③ 法人事業税 寄附額の2割を税額控除（法人事業税額の20%が上限）

税額控除の手続き(申告)や算出に関しては、税理士や所管する税務署へご相談ください。

留意事項

- ・ 本制度を活用して大空町へ寄附ができるのは、大空町外に本社がある企業です。
- ・ 1回当たり10万円以上の寄附が対象です。
- ・ 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。

寄附の流れ



問い合わせ先

大空町まちづくり推進室
地域戦略グループ

〒099-2392

北海道網走郡大空町女満別西3条4丁目1番1号

TEL/0152-77-8093

1 子育ての喜びを実感できる環境をつくる

- ・食育活動推進事業
- ・認定こども園運営事業

など

2 行きたい、住みたい、住み続けたい、魅力あふれるまちをつくる

- ・移住定住促進事業
- ・観光資源活用事業

など

3 産業の振興と安定した就業環境をつくる

- ・網走刑務所住吉作業所利活用事業
- ・水産業振興事業

など

4 いきいきと活力みなぎる個性豊かな地域をつくる

- ・高校魅力化推進事業
- ・元気づくり応援事業

など

行きたい、住みたい、住み続けたい、魅力あふれるまちをつくる

関係人口創出・移住定住プロモーション事業「PROTO OZORA」プロジェクト



町では、令和2年度より、移住・定住施策に総合的に取り組み、移住相談や空き家バンク、無料職業紹介所運営など、移住に向けたトータルサポートや町の魅力を伝える活動を行っています。

昨年、プロモーション活動の一環としてスタートした「PROTO OZORA」プロジェクトは、外資系クリエイティブ企業と協働し、大空町まるごとを舞台に、まちの未来をプロトタイプするプロジェクトです。「町の関係人口創出」をテーマに、地元大空高校生から提言を受けたユニークなアイデアをベースに、今後、多くの人や町の事業者、企業などを巻き込みながら、社会実装を目指してまいります。

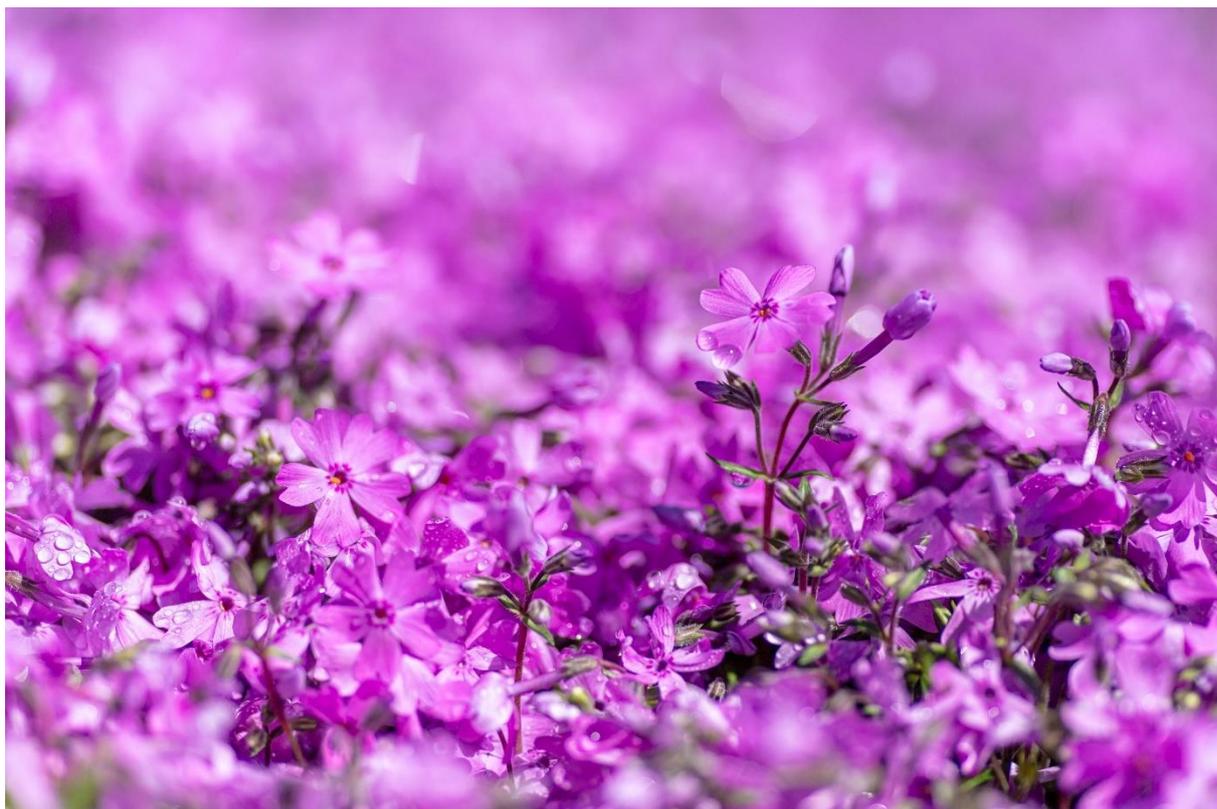
ワンフライトですぐそばの豊かな大自然に触れられることが町の魅力であり、しっかりとその良さを伝えていくとともに、今後は、人々のチャレンジや次世代の頑張りを温かく応援する町の雰囲気と、そこに暮らす穏やかで優しい人々の気質こそ、ここにしかない魅力であることを多くの方に知っていただけるよう取り組みます。

本ふるさと納税は、「PROTO OZORA」プロジェクトに活用させていただきます。

目標額 5,000,000円

PROTO OZORA
「大空高校生政策提言」について詳細
はこちら





東藻琴芝桜公園は10ヘクタールもの芝桜が5月の初めから5月末まで咲き誇り、大空町の観光名所の一つとなっています。最近の芝桜の植栽状況は、3年前からのコガネムシの大発生と一昨年の干ばつの影響、更には苗の老朽化や土壌の活力不足などにより、枯れた箇所（約3割）が多く、令和4年は満開宣言をすることができませんでした。

本年以降の芝桜公園誘客促進のため、またこの素晴らしい芝桜を後世に残していくためにも早急な対応が必要と考え、芝桜の活性化対策を進めます。

また、老朽化した施設の大規模改修だけでなく、公園の今後の方向性や在り方について、基本構想を策定し、リニューアルに向けた再整備を進めます。

本ふるさと納税は、芝桜の苗購入、ドローンによる液肥の散布、肥料の購入、労働力の確保及び公園のリニューアルに向けた施設整備に活用させていただきます。

目標額 50,000,000円

産業の振興と安定した就業環境をつくる

網走刑務所住吉作業所利活用事業



網走刑務所住吉作業所は、大正13年頃、網走刑務所が女満別住吉地区に開設した、面積約500ヘクタールの作業場です。かつては刑務所職員と受刑者が常駐して、米の生産等の農業のほか、広大な森林を活用した林業が刑務作業により行われ、農作業等を通じた住吉地区住民との交流も活発でした。

しかし、近年は刑務所職員等の常駐が中止となり、刑務作業がほとんど行われなくなったことが原因で作業所用地が荒地と化し、樹木の風倒被害やエゾシカ等による獣害が深刻化しており、周辺の農地等への被害拡大も懸念されています。

作業所用地は国有地ですが、このような被害を防ぎつつ、地域活性化にも資する形で用地を有効活用することは、町にとっても大きな課題となっています。

町では、法務省をはじめとする関係機関や民間企業等と連携し、作業所用地を活用した農林業技術や学術の研究、関係人口の拡大、住民の憩いの場創出などに資する取組を推進します。

本ふるさと納税は、民間企業・団体等への事業周知及び本事業への参入に向けた活動、作物の種子・苗木や肥料等の購入、作物の栽培、生産物の加工及び販売、新たな土地の活用に向けた調査及び工事などに活用させていただきます。

目標額 15,000,000円

いきいきと活力みなぎる個性豊かな地域をつくる

高校魅力化推進事業



北海道大空高校は、全国でも珍しい町立の高校として令和3年4月に開校した学校です。少子化が進む地方の高校は入学者が減少していますが、大空高校は開校2年目に定員を超える出願があり、全国各地から生徒が集まる人気校になりました。

大空高校は、生徒の主体性を育むため、ICTを活用した「個別最適化授業」を行い「チョーク&トーク」の一斉講義はほとんど行われておりません。

こうした先駆的な取組は全国から注目を集め、北海道知事や大学教授など多くの教育関係者が視察に訪れ、新しい教育のカタチに期待が寄せられています。

生徒たちも、体育祭を自分たちで企画運営したり、高校生Caféを経営したり、レモネードを販売して小児がんの子どもたちに寄付をするなど、自らの意思で新しいことにチャレンジしています。

「～世界と地域をつなぐ大空で路を切り拓く飛行機人になる～」

これは、「風に乗るグライダーではなく、自分のエンジンで大空に飛び立ち、自らの意志で未来を切り拓いてほしい」という、地域の思いを言語化したものです。

大空高校の生徒たちは、滑走路（高校）で離陸の準備をし、今まさに大空に飛び上がろうとしています。ぜひ、私たちと一緒に生徒たちを応援してください。

本ふるさと納税は、「大空高校魅力化プロジェクト」に活用させていただきます。

目標額 43,000,000円